

業績リスト

学術雑誌論文：

- [1] Hasegawa, Y., Dias, C., Iryo-Asano, M., and Nishiuchi, H.: Modeling pedestrians' subjective danger perception toward personal mobility vehicles, *Transportation Research Part F: Traffic Psychology and Behaviour*, Vol. 56, pp.256-267, 2018.
- [2] 長谷川悠, 井料美帆: パーソナルモビリティに対する歩行者の認知に着目した ヴァーチャルリアリティの適応可能性の検討, *交通工学論文集*, Vol. 4, No.1, p.A_147-A_153, 2018.
- [3] HASEGAWA, Y., & IRYO-ASANO, M. (2018). Development of Pedestrian Model for Experiments in Virtual Reality Environment. *SEISAN KENKYU*, 70(2), 131-135.
- [4] 菱川貴之, 井料美帆, 長谷川悠: パーソナルモビリティの車種が歩行者のリスク認知に与える影響に関する研究, *土木学会論文集 D3*, Vol. 75, No.5, 2019.

審査付き国際会議論文リスト:

- [1] HASEGAWA, Y., KATO, H.: Intra-household Joint Car Travel under the 3-in-1 Policy in Jakarta Metropolitan Area, Indonesia. *Journal of the Eastern Asia Society for Transportation Studies*. 2017;12:522-37.D12
- [2] Iryo-Asano, M., Hasegawa, Y., and Dias C.: Applicability of Virtual Reality Systems for Evaluating Pedestrians' Perception and Behavior, *INTERNATIONAL SYMPOSIUM OF TRANSPORT SIMULATION (ISTS'18) AND THE INTERNATIONAL WORKSHOP ON TRAFFIC DATA COLLECTION AND ITS STANDARDIZATION (IWTDCS'18) - EMERGING TRANSPORT TECHNOLOGIES FOR NEXT GENERATION MOBILITY* 34 67-74 2018 年

その他の論文：

- [1] 長谷川悠, 井料美帆: ヴァーチャルリアリティ環境での歩行者実験に適した歩行者モデルの開発, 第 15 回 ITS シンポジウム 2017, 2017.12.
- [2] 長谷川悠, 井料美帆: パーソナルモビリティに対する歩行者の主観的危険度インデックスモデルの提案, *土木計画学研究・講演集*, Vol.56, 8 pages in CD-ROM, 2017.11.
- [3] 菱川貴之, 井料美帆, 長谷川悠: パーソナルモビリティの導入に対する歩行者のリスク認知に関する研究, *土木計画学研究・講演集*, No.57, 10 pages, 2018.6.

その他の業績リスト：2 企業での実務経験

【A.T.Kearney 株式会社】

- 経営戦略コンサルタントとして、新規事業立案や全社改革に多数携わった
- あるクライアントでは半年間現場とともに改善策を模索しながら経営層とも対話を重ね、全社で 10 億円のコストを削減するプロジェクトを成功させた

【本田技研工業株式会社】

- モビリティサービス事業本部（300 人規模）の新規立ち上げにおいて、本部の戦略立案・方針策定を主導した
- 本部全体の予算立案や各種役員報告においては、主要メンバーとして業務を遂行した

以上